



夏休みを終えて振り返りました・・・

校長 平島 幸江

とにかく酷暑の8月でしたが、朝晩はほんの少しだけ涼しさを感じられるようになってきました。本日より、千秀小学校は夏季休業後の授業を再開いたしました。児童の声が戻ってくると、「学校はいいな」とつくづく思います。

今夏は、この暑さとともに、台風の進路など天候に気をもみましたが、実現となり、よかったことも多数あったかと思えます。私は、7月末の隅田川花火大会をテレビ放送で見ました。趣向を凝らした見事な花火、「また見ることができた」という喜びが自然と心に生まれました。数年の間、辛抱し続けた花火師たちの強い思いにも大きな感動を受けました。8月に入ると、学区内のいくつかの町内会で4年ぶりの盆踊りが開催され私も数名の職員と伺いました。子どもたちの笑顔と地域の皆様の、はつらつとしたご活躍ぶりに、嬉しい気持ちでいっぱいとなりました。ここ数年の状況を思うと、開催までにはご苦労もあったかと思えますが、地域を活性化したいという町内会の皆様の思いに触れ、改めて皆様に感謝の思いをもちました。開催、本当におめでとうございます。そして、これからもどうぞ体調には十分に気を付けられながら、それぞれの町内会に合った形で活動を続けていただけますよう、学校からも思いを寄せさせていただきたいと思えます。

さて、私は今年の夏休みに、自分への宿題を3つ、設定しました。1つは、マイブームになりつつある手話をさらに覚えること。2つ目は、各地自慢のかき氷を食べて研究すること。3つ目は、ヨガの「木」のポーズの上達です。児童に負けないようにとがんばりました。3つの中で特に成果が出たことは、かき氷研究です。山梨県の新鮮な果物をたくさん使ったかき氷メニューを出すお店を見つけることができました。お店の方と会話する中で、山梨県の果物の詳しい生産分布も知りました。児童にも、研究成果を聞いてほしいと思い、発表用資料を製作中です。ほかの2つの宿題は、年齢と生活習慣からでしょうか、上達は芳しくありませんが、ほんのちょっとだけ(自分の中での基準では)上達しているので、これからもひたすら「続ける」ことを自分に課していきたいです。

我が夏休みを振り返ってみると、一番心に残っていることは、8月初旬から中旬にかけての、広島・長崎の「原爆の日」と「終戦の日」に考えたことです。当時のことを語るができる人がいなくなってきたなどの報道がなされる中で、心に浮かんだことは、数年前に逝去した母が、常日頃話していた言葉です。「私が話す戦争の話は、どんどん他の人に伝えてね」とニコニコ言いながら、周りにはいる子どもたちに戦時中に見聞きしたこと、そして平和の大切さを話していました。今振り返ってみると、とても大切なことを教えてもらっていたのだなと思えます。

心の中の大切と思うことを「言葉で言語化して話す、伝える」ということを、学校経営の中で、自分も実践していこうと心に決めているところです。